

議会報告会実施報告書

開催日時	平成25年11月2日 19時00分 ～ 20時20分
開催場所	東部集会所
出席議員	(班長) 中河議員 (司会) 大藤議員 (記録者) 村井議員 大前議長 (班員) 末包議員, 植條議員, 前川議員
参加市民数	11人
実施内容	<p>議会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会挨拶 大前議長</li> <li>・委員会報告 総務消防委員会 植條議員 教育民生委員会 末包議員 市民建設委員会 村井議員 新庁舎建設特別委員会 前川議員</li> <li>・質疑応答</li> <li>・閉会挨拶 中河議員</li> </ul>
	<p>質疑応答</p> <p>&lt;質疑&gt; 職員の給与減額との関連で、市も人も給与も下げる行財政改革もかんがみ当然、議員報酬も削減と思っていたが6カ月の時限否決の経緯は？ 議員定数の検討の動きもあるようだが、昨今の景気も財政の悪化という中で、議員間での検討とは、何を基準に増減を考えるのか。 それも報酬も含めての事なのかお聞きしたい。観音寺市の例をとらえて</p> <p>&lt;答弁&gt; 議会の賛否の説明、これまで3/11への対処として義援金100万円、市立病院の再建に関しての議員報酬の削減、過去4回の選挙での段階的な議員定数の削減、議員年金の廃止、費用弁償の廃止等自主的に努力した事への理解、又賛否の内、時限立法での議員報酬の短期間での上下させることの問題なり、議会基本条例の21条により議員報酬は市民の意見をもらう事にもなっておりもっと時間をかけて議論すべきものと反対の意見が多かった。議員定数と報酬は区分して検討するものと考え、定数は12月を目途に検討する。</p>

		<p>&lt;質疑&gt;  定数については議論してもらいたい。報酬については時限であり、金額よりも姿勢の問題ではないのか。  考え方として、まさに時限立法、短期の話、市側としては交付金が減らされるから市民サービスへの影響より給与を減らす議員は、今まで自助なり自主努力をやってきたのだから、今回はいいのでは！市民サービスの低下を防ぐ 地にすれば、議員もやっぱり減額すべきであったと考える。  長期的に見れば定数と報酬は一緒にしてやるべきと思う。  行財政改革を市に議会が要望しているならば議会もやるべき。  議員活動で提案者が限られている。そして提案項目も重複、要は、市民サービスのための提案力と実行力を備えた議員が必要。  人数だけでなく、質でやるべきと考える。</p> <p>&lt;答弁&gt;  自治民主主義を守る事が重要と思料する。よって各地域のバランスも勘案し、考察していく事も重要、単に隣の市が減したから我々も減すというような考えはない。しっかりした裏付けの実証した結論を得たいし、あくまで定数を削減していく理由を客観的に理論付ける必要もあり、市民の声を聞いて行こう。</p> <p>&lt;質疑&gt;  単なる人数を減らせと言っているのではなく、質を取れと思っている。</p> <p>&lt;答弁&gt;  選挙で選ばれる我々議員が、質が高い低いと言われる事に答えるのは難しい。</p> <p>&lt;質疑&gt;  議員の質が高い低いを前面に出して言っている訳でなく議員も理事者も質の高い議論をやってほしい。真剣に</p> <p>&lt;答弁&gt;  議員への激励と宇多津との合併の早期実現</p> <p>&lt;質疑&gt;  土地開発公社解散の件で全員一致にて可決となっているが。</p> <p>&lt;答弁&gt;  委員会でも本会議でも、特に質問はなかった。まさに健全化計画の推進であり解散までの経緯をふまえ全員一致にて可決した他同様な公社事例で失敗した市の状況を紹介。</p> <p>&lt;質疑&gt;  要は市税を投入して解散しなければいけない。債権放棄しなければならぬ事にストレートにOKと言う事ですね。</p>
--	--	---

	<p>&lt;答弁&gt;      そういう結果</p> <p>&lt;質疑&gt;      第三セクターの債権に化けて、これに対する金利負担はどれくらいか。</p> <p>&lt;答弁&gt;      予定ですが1%という事。又解散に当たってのメリット、デメリットがあるが、デメリットとしては第三セクター等改革債を発行する事で市債残高が増えてしまう。実質公債比率も若干なりとも上がってしまう。</p> <p>&lt;質疑&gt;      過程で資産を市が買い戻した結果、目減り（資産）はしているはず。その目減りの額は、それは当然市財政を圧迫しているはず</p> <p>&lt;答弁&gt;      これだけの土地開発公社の運営説明</p> <p>&lt;質疑&gt;      率直に言えば5.9億引く1.1億で4.8億その7割として仮に言えば3.0億ぐらいの評価損が出ているのか。</p> <p>&lt;答弁&gt;      今、回答できない。</p> <p>&lt;質疑&gt;      今後土地の活用状況を常に見守っていくとあるが、具体的にどういう施策か、公社は解散しているが、どの部署がどうやるのか、活用対策は</p> <p>&lt;答弁&gt;      市の方が、担当課、事業部署がやる</p> <p>&lt;質疑&gt;      ウオッチしていくことは、どの部課がどのような体制で具体的要領も明らかにしておくことではないのか。ほったらかしではないのか。全員一致で可決するとは、こういう対応もふまえて可決すべき。</p> <p>&lt;答弁&gt;      本会議においては公社の解散と第三セクター等改革推進債の発行するものであったが、委員会としてはこれまでも、これからも本事案については報告等を受け対応を適切にしたい。</p> <p>&lt;質疑&gt;      地震対策のうち避難ビルの指定について問いたい。      行政サイドは3から4メートルの津波まで2時間ぐらいかかる</p>
--	---

		<p>ので近傍山麓の避難地域まで行きなさいと言うが、高齢者等いろいろな状況を考察すれば行政の仕事として避難ビルの指定対策も必要ではないのか。</p> <p>&lt;答弁&gt;  現在の行政による山麓避難地指定の重要性についての説明  (応急物資の集積, 情報の一元化, 2次救援の容易性等)  避難ビルの価値への理解を説明しつつ, 居住者との摩擦, 混乱をふまえしっかりした事前の協定, 調整の必要性から手順をふんで議会としても理事者側との連携を図っている。</p> <p>&lt;質疑&gt;  このような報告会の充実と広報の在り方意見</p> <p>&lt;質疑&gt;  市内循環バスについて。フリー乗降, 一方向一路線の今後は。収支はどうなっているのか?</p> <p>&lt;答弁&gt;  収支は赤字。ただ1日54人, 1便3人の目標へ着実に近づいている。フリー乗降は坂出市の道路形状より安全管理上難しい。バスの増台により逆路線, 路線の拡充等は今後の課題。今後の公共交通の改善充実はしっかり利用してもらい調査アンケートに答えてもらう等市民の方々にかかっている。</p>
	<p>要望・提言等</p>	
	<p>質疑応答</p>	
	<p>要望・提言等</p>	